

三菱UFJフィナンシャル・グループ  
**MUFG**通信

第8期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)



Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。



MUFG

証券コード：8306

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

私から、平成24年度の業績および中期経営計画の進捗をご説明いたします。



## 平成24年度の業績

平成24年度の連結当期純利益は、業績目標(6,700億円)を上回る8,526億円となりました。国際部門や市場部門の収益が好調であったほか、与信関係費用も安定的に推移しました。また、三菱UFJ証券ホールディングスなど、子会社の業績も順調に推移しました。

貸出につきましては、企業の合併・買収に係わる資金需要が伸びたこともあり、国内法人貸出の残高が前年度末比で増加に転じました。また、海外貸出は引き続き順調に推移しております。預金につきましては、国内法人預金、個人預金が共に増加しました。

財務健全性の観点では、この3月から適用が開始された新自己資本規制(いわゆるバーゼルⅢ)の基準で、総自己資本比率は16.68%、中核的な自己資本の割合を示す普通株式等Tier1比率は11.70%と、十分な水準を確保しました。不良債権比率も1.80%と、引き続き低水準にとどまっております。

順調な業績を考慮し、普通株式の配当につきましては、期末配当7円、中間配当と合わせた年間配当は13円と、昨年度に比べ1円増配いたしました。

## 中期経営計画の進捗

3ヵ年の中期経営計画初年度となる平成24年度は、今後の成長を展望した戦略的な布石を着実に展開いたしました。米国では、子会社のユニオンバンクを通じてカリフォルニア州のパシフィック・キャピタル・バンコプを買収し、太平洋岸の店舗網を充実させました。また、成長が期待されるアジア等の新興国では、ベトナム国有大手銀行のヴィエティンバンクと資本・業務提携契約を締結するなど、ネットワークの拡充を進めました。個人のお客さま向けサービスでは、インターネットバンキングの使い勝手の向上や、タブレット端末を活用した販売体制の強化などを進めました。また、企業経営者のニーズにワンストップでお応えすべく法人拠点とリテール拠点の一体運営を一層進めました。

現在、新政権の財政・金融政策や成長戦略の下、日本経済は再生に向けて動き出しております。こうした環境変化を的確に捉えてこれまで進めてきたグループ戦略を一層加速させてまいります。また、ガバナンスや経営基盤強化の面でも、事業のグローバル化や国際金融規制等の経営環境の変化に対し、タイムリーかつ柔軟に対応すべく、リスク委員会およびグローバル・アドバイザリーボードを新設いたします。これらの取り組みにより、MUFGの持続的成長への道筋を確かなものにしてまいります。

資本政策については、「充実した自己資本を維持」しつつ、「収益力強化に向けた資本の活用」と「株主還元の一層の充実」を目指してまいります。

MUFGは、中期経営計画の着実な遂行を通じて企業価値を増大させ、株主の皆さまの期待や信頼にお応えしてまいります。「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」を目指し、役職員が一丸となって挑戦を続けてまいりますので、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ  
取締役社長

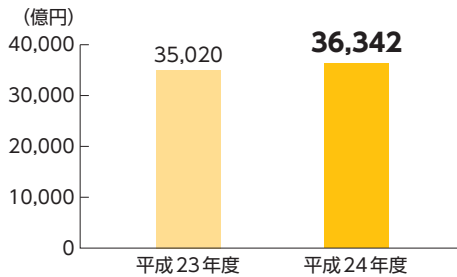
平野信行

# 平成24年度の業績

## ✓ 決算のポイント

- 連結当期純利益は、業績目標6,700億円を上回る8,526億円
- 貸出金は、前年度末比6.8兆円増加。預金は、6.9兆円増加
- 新自己資本比率規制(バーゼルⅢ)がスタート。普通株式等Tier1比率は、11.70%

### 連結業務粗利益



資金利益は、前年度比236億円減少しました。国際部門の貸出収益は増加したものの、市場金利の低下により市場運用利息などが減少したことや、消費者金融子会社の営業貸付金が減少したことによるものです。一方、役務取引等利益は、780億円増加しました。海外における貸出関連手数料が好調だったことに加え、株式相場の上昇を背景に投資信託など運用商品の販売が好調だったことによるものです。また、国債等債券関係損益も増加しました。

### ■ 損益の状況(連結)

● 連結業務粗利益(信託勘定償却前)	
資金利益	
信託報酬+役務取引等利益	
特定取引利益+その他業務利益	
うち国債等債券関係損益	
営業費(△)	
連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	
与信関係費用総額(△は費用)	
株式等関係損益	
持分法による投資損益	
その他の臨時損益	
経常利益	
特別損益	
法人税等合計	
少数株主利益(△)	
連結当期純利益	
除く負ののれん	

(単位：億円)

平成23年度	平成24年度
35,020	36,342
18,405	18,168
10,611	11,373
6,002	6,799
2,703	3,367
19,945	20,950
15,074	15,392
△ 1,934	△ 1,156
△ 886	△ 536
3,775	520
△ 1,308	△ 777
14,719	13,441
△ 238	96
△ 3,764	△ 3,957
902	1,053
9,813	8,526
6,906	8,526

### 営業費

海外業務等の収益増強施策への積極的な資源配分や新しい金融規制への対応、証券子会社の業容拡大などにより、前年度比1,004億円増加しました。

### 与信関係費用総額\*

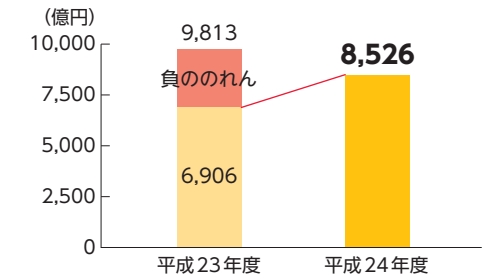
引き続き落ち着いた推移となっており、前年度比778億円改善しました。

\* 与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用(臨時損益)+償却債権取立益+貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連)

### 株式等関係損益

株式等売却損の減少を主因に前年度比改善しましたが、株式等償却の発生から536億円の損失となりました。

### 連結当期純利益

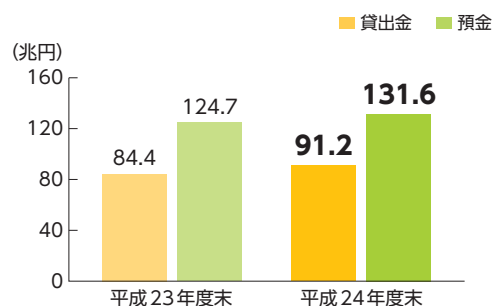


業績目標6,700億円を上回る水準となりました。昨年度にはモルガン・スタンレーの持分法関連会社化に伴う一時的な利益(負ののれん/その他の臨時損益)2,906億円が発生しており、それを除いたベースでは、前年度比1,619億円の増益となりました。

(注) 業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

# 平成24年度の業績

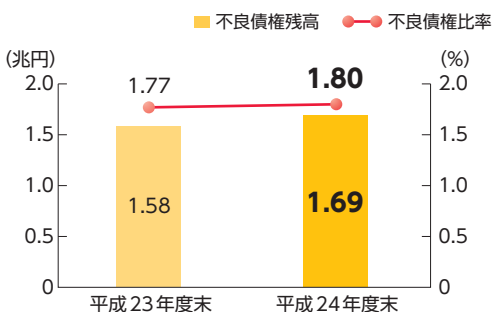
## 貸出金・預金



貸出金残高は、前年度末比で海外貸出が4.9兆円増加したほか国内法人貸出も1.9兆円増加したことから、全体でも6.8兆円増加しました。

預金は、海外・国内法人・個人のいずれでも増加し、全体では6.9兆円増加しました。

## 不良債権残高・比率\*



不良債権比率は1.80%と、引き続き低水準を維持しています。

\* 三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の2行合算+信託勘定

## 資産・負債の状況(連結)

資産の部合計	2,188,616	2,344,987
貸出金(銀行勘定)	844,926	912,995
有価証券	782,647	795,268
うち国債	485,627	487,079
負債の部合計	2,071,858	2,209,790
預金	1,247,892	1,316,970
純資産の部合計	116,757	135,196

## 不良債権の状況

不良債権(金融再生法開示債権)	15,821	16,968
不良債権比率	1.77%	1.80%

## 有価証券評価損益の状況(連結)

その他有価証券評価損益	8,320	18,851
-------------	-------	--------

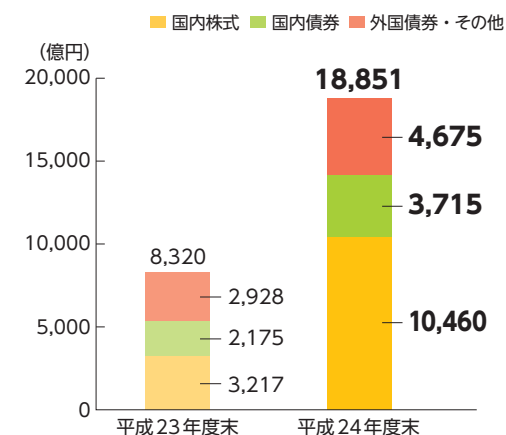
## 自己資本の状況(連結)

普通株式等Tier1比率	—	11.70%
Tier1比率	—	12.74%
総自己資本比率	—	16.68%
リスク・アセット	—	879,686

(単位: 億円)

	平成23年度末	平成24年度末
資産の部合計	2,188,616	2,344,987
貸出金(銀行勘定)	844,926	912,995
有価証券	782,647	795,268
うち国債	485,627	487,079
負債の部合計	2,071,858	2,209,790
預金	1,247,892	1,316,970
純資産の部合計	116,757	135,196

## 有価証券の含み損益



株式相場の上昇により、国内株式の評価損益が前年度末比7,242億円と大幅に増加したことに加え、市場金利の低下により、国内債券の評価損益も1,540億円増加しました。海外株式の評価損益も増加しています。

## 自己資本比率(バーゼルⅢ)

新しい自己資本比率規制(バーゼルⅢ)が導入され、今回からそれに則って算出しています。普通株式等Tier1比率\*は11.70%と、十分な水準を確保しています。

\* 普通株式等Tier1比率=中核的な自己資本(資本金・剰余金)÷リスク・アセット

MUFUGグループは、さまざまな金融分野に有力なグループ会社を有する総合金融グループです。「クローズアップMUFUG」では、こうしたグループ会社をシリーズでご紹介します。第三回は、東京クレジットサービスです。

## 東京クレジットサービス

Q. 会社概要・特長について教えてください。

A. 東京クレジットサービスは、旧東京銀行のクレジットカード会社として昭和56年7月に設立されました。現在では、外貨両替、クレジットカード、住宅ローンのサービスをお客さまに提供しています。

外貨両替業務では東名阪の三大都市圏および福岡に自社ブランドの外貨両替専門店「ワールドカレンシーショップ」を36店舗展開しているほか、三菱東京UFJ銀行の「外貨両替ショップ」8店舗の業務を受託運営しており、全国のお客さまにご利用いただいています。

Q. ワールドカレンシーショップのサービスについて教えてください。

A. ワールドカレンシーショップの店舗は、ターミナル駅の駅ビルや駅近くの商業施設および三菱東京UFJ銀行ならびに三菱UFJ信託銀行の店舗内にあります。土日・祝日や平日の夕刻に営業している店舗もあり、お買物にお出かけの際や会社からお帰りの途中にもお立ち寄りいただけます。

取り扱う外国通貨は、現金で19通貨、トラベラーズチェックで8通貨（うち3通貨は買取のみ）と品揃え豊富なうえ、全通貨バラ売りしているのでお客さまの多様なニーズにお応えできます。両替レートも三菱東京UFJ銀行と同じなので安心してご利用いただけます。また、各通貨とも豊富な在庫を用意しており、その場でスピーディーに対応いたします。

WORLD CURRENCY ¥ \$ HOP

Q. 最近の取り組みについて教えてください。

A. 近年、ビジネスや観光のためにアジアを訪問する人が増えています。そこで、平成24年10月には、ご要望の多かったマレーシアリングットの取り扱いを開始しました。これによりアジア通貨は8種類になりました。店舗網も継続的に拡大しています。平成24年度には新宿三丁目店、東京スカイツリータウン・ソラマチ店、アトレ川崎店の3店舗を新たに開設しました。



### 取り扱い通貨一覧

アメリカドル★	スウェーデンクローナ	香港ドル★
ユーロ★	オーストラリアドル★	インドネシアルピア
カナダドル★	ニュージーランドドル★	タイバーツ
イギリスポンド★	パシフィックフラン	ニュー台湾ドル
スイスフラン★	韓国ウォン	マレーシアリングット
デンマーククローネ	シンガポールドル	
ノルウェークローネ	中国元	

★トラベラーズチェックの取り扱いあり  
★トラベラーズチェックの取り扱いあり(買取のみ)

- 会社名：株式会社東京クレジットサービス
- 本社所在地：東京都千代田区一ツ橋2丁目6番3号
- 設立：昭和56年7月
- 資本金：5億円
- 従業員：328名(平成25年3月31日現在)
- URL：<http://www.tokyo-card.co.jp/>

優待サービスのご案内  
外貨両替レート優遇(ドル・ユーロ)



詳しくは優待パンフレットをご覧ください。



# トピックス

今回のトピックスでは、平成26年1月にスタートする少額投資非課税制度(NISA)と、平成25年4月に取り扱いが開始された教育資金贈与について、ご紹介します。

## 少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」

### 制度の概要

上場株式や公募株式投資信託などへの投資から得られる収益が、非課税になる新しい税制優遇制度です。専用口座(=NISA口座/お1人さま1口座に限られます)を開設する必要があります。

### 制度に関するQ&A

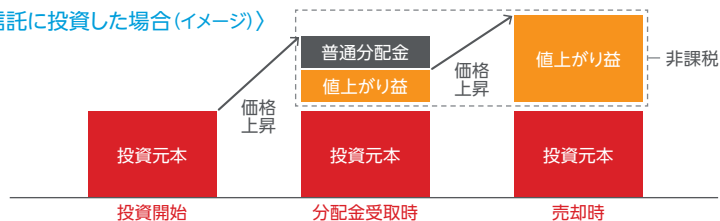
**Q** いつからこの制度は始まるのですか？

**A** 制度のスタートは、平成26年1月からです。また口座開設可能期間は、平成35年までの10年間です。

**Q** 対象となる商品は何ですか？また、非課税の対象は何ですか？

**A** 株式投資信託や上場株式のほか、ETF、REIT等に投資することができます。例えば、株式投資信託に投資した場合、受け取った「普通分配金」と売却時の「値上がり益」が非課税になります。

〈公募株式投資信託に投資した場合(イメージ)〉



**Q** いくらまで投資可能ですか？

**A** 平成26年から平成35年までの10年間、毎年100万円を上限に非課税投資枠が設定できます。各非課税投資枠の非課税期間は最長5年間ですので、非課税投資総額は最大500万円となります。

**Q** NISA口座を開設するには、どのような手続きをすればいいのですか？

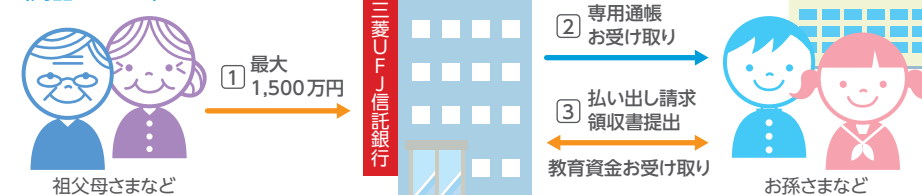
**A** NISA口座を開設する金融機関に所定の申請書類を提出し、その後、金融機関が税務署に対して口座開設の確認をするなどの手続きが必要となります。具体的な手続き方法は、法令等、必要な措置が確定次第ご案内します。

## 教育資金贈与

### 制度の概要

祖父母さまなどがお孫さまなどに教育資金を一括贈与する場合、お孫さまなどお一人につき最大1,500万円まで非課税となる制度です。

〈商品イメージ〉



### 制度に関するQ&A

**Q** 信託銀行を使うメリットは何ですか？

**A** 今後支払いが見込まれる教育費を、一括して贈与いただくことで、お孫さまなどが将来にわたってご資金を計画的に活用することができます。

**Q** この制度は孫だけでなく、ひ孫も対象ですか？

**A** 対象となります。この制度は、お子さま、お孫さまだけでなく、ひ孫さま、やしゃご玄孫さまでも適用できます。(ただし30歳未満の方に限られます)

**Q** 教育資金として引き出しできなかった残金については課税されるのですか？

**A** 贈与を受けたお孫さまなどが30歳になった日に贈与があったものとして課税されます。

**Q** 一度預け入れた資金を(祖父母さまなどが)途中で払い出すことはできますか？

**A** 一度お預け入れいただいたご資金は、お孫さまなどの名義となりますので、祖父母さまなどが払い出すことはできません。

## MUFGにおけるNISA・教育資金贈与の取り組み

MUFGグループでは、NISA専用ホームページ(<http://www.mufg.jp/isa/>)を開設したほか、セミナーを共催しました。教育資金贈与信託では、三菱UFJ信託銀行に加えて、三菱東京UFJ銀行でも代理店として取り扱いを開始しています。

MUFGグループは、地域・社会の一員として、社会全体の重要課題の解決に貢献したいと考え、行動しています。

今回は、次世代の担い手育成の取り組み(海外)や、東日本大震災で被災した海岸林の再生による地域貢献活動などをご紹介します。

## 次世代の担い手育成への取り組み(海外)

### ■ アジア・太平洋地域の次世代担い手研修

MUFGは、平成20年度から、公益財団法人オイスカと共同で、アジア・太平洋地域の若者を対象に、有機農法の技術や、農業経営を1年かけて学んでもらう研修を行っています。平成25年度は、第6期生としてインドネシア、パプアニューギニアなどから10名を受け入れています。



### ■ ESD(持続発展教育) 応援活動

三菱東京UFJ銀行は、将来にわたって持続可能な社会を構築するために、「ESD(持続発展教育)」の普及に努めており、その一環としてユネスコスクールの応援をしています。

平成25年3月には、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟と共同で「第3回ESD国際交流プログラム」を実施しました。今回は、高校生12名がドイツ・フランスのユネスコスクールを訪問し、現地の生徒たちと環境問題への取り組みなどについて議論をしました。



## MUFGグループの地域貢献活動(第3回)

### 千葉県九十九里浜

平成25年4月、三菱UFJ証券ホールディングスの傘下企業の社員約30名が、NPOと協力して「九十九里浜海岸林再生活動」を実施しました。この活動は、東日本大震災の被災地支援の一環として、津波により消失した海岸林の再生を目的としています。



参加した社員は、枯木を除去し、新たにクロマツの苗木約600本を植えました。今夏にも、手入れのために再訪問する予定です。

### MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金

#### 花壇再生プログラム

花壇再生で訪れた小学校の校長先生からお礼状をいただきました。

早春の候、皆様にはますますご健勝のほどお喜び申し上げます。

小高小学校のために、花壇の片付けを手伝っていただき、誠にありがとうございました。ボランティアの皆様には感謝申し上げます。植えていただいたジオラは、寒い冬を乗り越えて、今ちょうど見頃を迎えております。



南相馬市小高区の小中学校は、同じ市内の鹿島区に建てられた仮設校舎にて学習を続けております。皆様からの多くの支援のおかげで、平成24年度は様々な学校行事を行うこともできました。子どもたちも、皆元気に学校生活を送っております。児童・職員一同、たいへん感謝しております。本校舎に戻ることができるまで、子どもたちとともに頑張っていきたいと思っております。

平成25年3月 福島県南相馬市立小高小学校長 飯塚 宏

#### 株主優待制度 寄付コースのご報告

平成25年の株主優待制度「『MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金』への寄付」には、約3万8,000名の株主さまが応募され、寄付金総額は6,150万円となりました。ご応募いただいた株主さまには厚く御礼申し上げます。



## 三菱東京UFJ銀行 ハノイ支店

### ベトナム ハノイ

ハノイは、ベトナムの首都で、ホーチミンに並ぶ中心都市です。中国の雲南地方と南シナ海を結ぶ交易路上に位置していることから、古くから交易地として栄えてきました。永らく中国王朝の統治が続きましたが、19世紀になるとフランスの統治下に置かれ、フランス領インドシナの中心地となりました。旧市街の路地に一步踏み入ると、中国建築とフランス建築の建物が混在する、不思議な古都情緒を感じることができます。中国の影響を強く受けた食文化では、麺料理が発達しており、米粉でできた「フォー」や「ブン」は日本でも有名です。小魚を塩漬しほけにして発酵させた調味料の「ヌックマムぎょしょう（魚醤）」はベトナム料理に欠かせません。



#### 拠点紹介

ハノイ支店



ハノイ支店は平成10年に設立されました（ホーチミン支店は、大正9年に設立）。現在は駐在員8名、現地スタッフ100名が勤務しています。ベトナムは、高い経済成長を維持していることに加えて、親日的なこともあり、進出している日系企業は1,000社を超えます。

平成24年12月には、大手の国有銀行の一角であるヴィエティンバンクと、株式

引受契約および業務提携契約を結びました。これは、金融ニーズの拡大が期待される当地において、一層充実した総合金融サービスを幅広く提供することを目的とするものです。今後もホーチミン支店とともにヴィエティンバンクとの連携を強化し、積極的にお客さまのニーズにお応えしていきます。

#### ◆ ホー・チ・ミン廟

ベトナムの民族解放と独立のために一生を捧げたホー・チ・ミン主席の遺体が安置されています。1945年にホー主席自身が独立宣言を読んだバーディン広場を臨む壘廟には、今でも訪れる人が絶えません。



#### ◆ ホアンキエム湖

15世紀、明から独立を果たした後に、王が神から授かった宝剣をこの湖に還したという伝説があり、「湖還剣（剣を還す湖）」を意味するこの名がつけました。今では市民の憩いの場となっています。

#### ◆ タンロン水上人形劇

地元には伝わる民話や神話を題材にした水上人形劇は大人気です。コミカルな動きとわかりやすいストーリーで、多くの観光客を魅了します。



#### ◆ ベトナム料理

フォーはベトナム料理を代表する平打ちの米粉麺で、屋台でも人気の定番メニューです。地域によって中に入れる具にも特色があり、ハノイのフォーは肉とネギを入れるシンプルな一品です。



# MUFG 株主セミナー開催のお知らせ

MUFGでは、日頃ご支援いただいている株主さまを対象に、下記のとおりセミナーを開催いたします。なお、当社株式を長期に保有いただいている株主さまへの感謝として、ご応募いただいた方のうち、当社株式を5年超保有\*の株主さまの当選倍率を通常より2倍に優遇させていただきます。

\*中間期末日および期末日の株主名簿に連続11回以上記載

## 1. 動画配信

経済セミナーの様子を当社ホームページにて公開します。詳細は以下をご覧ください。

|| リンク先情報  
当社ホームページ内『動画配信』(<http://www.muftg.jp/investors/movie/>)

|| ID                    || パスワード  
muftg                    201310

## 2. 開催概要

募集対象者 …………… 平成25年3月末時点で当社株式をお持ちの株主さま  
(ご同伴は1名さままで可)


参加費 …………… 無料

### ① 経済セミナー(東京・大阪・名古屋)

日 時 募集人数	【東京】東京都千代田区 平成25年10月8日(火) [午前の部] 10:30～12:00頃 [午後の部] 14:00～15:30頃      各回380名
	【大阪】大阪府大阪市中央区 平成25年10月11日(金) [午前の部] 10:30～12:00頃 [午後の部] 14:00～15:30頃      各回200名
	【名古屋】愛知県名古屋市中区 平成25年10月10日(木) [午前の部] 10:30～12:00頃 [午後の部] 14:00～15:30頃      各回150名
場 所	各地域の三菱東京UFJ銀行内ホール
内 容	テーマ: 「内外の経済・金融を展望する」(仮題) 講 師: 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 執行役員調査本部長 五十嵐 敬喜 氏



### ② 為替相場セミナー&ディーリングルーム見学会(東京)

日 時 募集人数	第1回 平成25年10月1日(火) 13:30～16:00頃 第2回 平成25年10月2日(水) 13:30～16:00頃 第3回 平成25年10月3日(木) 13:30～16:00頃	各回100名
場 所	三菱東京UFJ銀行内会議室およびディーリングルーム(東京都千代田区)	
内 容	第一部: 為替相場セミナー(三菱東京UFJ銀行のアナリストが解説いたします) 第二部: ディーリングルーム見学会(ディーラーが取引を行う現場をご覧ください)	

## 3. 応募要領

応募方法: 同封の「MUFG株主セミナー参加申込書」に必要事項をご記入の上、ご投函ください。  
**締め切り 平成25年7月26日(金) 消印有効**

### ご記入要領

- ご希望のセミナーおよび開催日時を選択してください(いずれか一つのセミナーをお選びください)。
- 株主さまのご住所、お名前(ふりがなを含む)、お電話番号、株主番号(「配当金領収証」または「配当金計算書」の住所氏名欄の下段8桁の番号)をご記入ください。
- ご同伴者さまがいらっしゃる場合は、その方のご住所、お名前(ふりがなを含む)もご記入ください。
- 個人情報保護シールをはがし、折り曲げてしっかりと貼り付けてご投函ください。

抽選の上、当選された株主さまには平成25年9月上旬にご招待状をお送りいたします。

### ◎ご注意◎

- 当日の受付時刻および場所等の詳細につきましては、当選された株主さまのみにご案内いたします。
- 開催場所までの往復の交通費は各自でご負担いただきます。
- 応募時に必要事項の記入漏れがあった場合には、無効となる可能性がございます。
- やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。

お問い合わせ先: 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

MUFG株主倶楽部  
専用デスク      0120-321-629 (通話料無料)

代表電話      03 (3240) 8111 (通話料有料)

受付時間: 土・日・祝祭日を除く9:00～17:00

# 会社情報 / 株式情報

## 取締役・監査役 (平成25年6月27日現在)

取締役会長 (代表取締役)	沖原 隆宗 おきはら たかむね	取締役	豊泉 俊郎 とよいずみ としろう	取締役	川本 裕子 かわもと ゆうこ
取締役副会長 (代表取締役)	若林 辰雄 わかばやし たつお	取締役	岡本 純一 おかもと じゅんいち	常勤監査役	根本 武彦 ねもと たけひこ
取締役社長 (代表取締役)	平野 信行 ひらの のぶゆき	取締役	荒木 三郎 あらかみ さぶろう	常勤監査役	みくも たかし
取締役副社長 (代表取締役)	田中 正明 たなか まさあき	取締役	野口 裕幸 のぐち ひろゆき	監査役**	岡本 園衛 おかもと くにえ
専務取締役 (代表取締役)	結城 泰平 ゆづき たいへい	取締役	徳成 旨亮 とくなり むねあき	監査役**	池田 靖 いけだ やすし
専務取締役 (代表取締役)	浜川 一郎 はまかわ いちろう	取締役*	荒木 隆司 あらかみ りゅうじ	監査役**	小島 秀雄 こじま ひでお
常務取締役 (代表取締役)	加川 明彦 かがわ あきひこ	取締役*	渡邊 一弘 わたなべ かずひろ		

\* 荒木 隆司、渡邊 一弘の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。  
\*\* 岡本 園衛、池田 靖、小島 秀雄の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

## 株式事務のご案内

定時株主総会基準日	3月31日
定時株主総会	6月下旬
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 / 中間配当金 9月30日
公告掲載方法	当社の公告は電子公告により行っております。 電子公告掲載URL: <a href="http://www.mufg.jp/">http://www.mufg.jp/</a> ただし、やむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	東京、大阪、名古屋、ニューヨークの各証券取引所
株式事務取扱場所	株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)
	事務取扱場所
	お問い合わせ先・ 郵便物送付先
	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話: 0120-232-711 (通話料無料) (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

## ■ 株式に関するお手続き

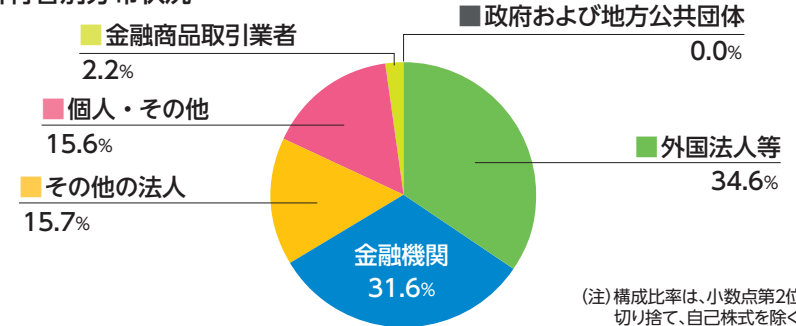
住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種お手続き	<ul style="list-style-type: none"> <li>証券会社の口座に当社株式が記録されている株主さま原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、お取引の証券会社等にお問い合わせください。</li> <li>特別口座に当社株式が記録されている株主さま上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。</li> </ul>
未受領配当金の支払	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

(注) 「特別口座」とは、株券電子化実施までに証券会社等を通じて証券保管振替機構に預託されなかった株式について、平成21年1月の株券電子化制度への移行時に、株主の権利を確保するため、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に株主名簿上の株主名義で開設された口座です。

## 株式の状況 (普通株式) (平成25年3月31日現在)

■ 株式の状況	発行済株式の総数	14,158,585,720 株
	株主数	760,871 名

## ■ 所有者別分布状況



## ■ 大株主

	所有株式数(株)	持株比率(%)
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	798,790,300	5.64
2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	616,039,200	4.35
3 SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	365,558,591	2.58
4 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	279,460,500	1.97
5 ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	241,263,142	1.70
6 ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウト(常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	231,783,920	1.63
7 日本生命保険相互会社	214,203,153	1.51
8 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(明治安田生命保険相互会社・退職給付信託口)	175,000,000	1.23
9 ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズ(常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	162,891,870	1.15
10 トヨタ自動車株式会社	149,263,153	1.05
合計	3,234,253,829	22.84
発行済株式総数	14,158,585,720	100.00

(注) 1. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。  
2. ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズは、ADR(米国預託証券)発行のために預託された株式の名義人でありませぬ。

グループメッセージについて

# Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。

「Quality for You」は  
『質』の高いサービスの提供を通じて、  
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の  
『質』の向上をお手伝いしたい。  
そして『You=お客さま』を基点に『You=地域・社会』の  
発展にも貢献していきたい」という  
私たちの姿勢を表しています。  
「確かなクオリティを、明日へ。世界へ。」は  
「いかなる時代にあっても『確かなクオリティ』を  
お届けし、お客さまの成長・歩み・夢を、  
『明日へ』、『世界へ』つなげていきたい」  
という私たちの想いを表しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL:<http://www.mufg.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、  
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。  
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター  
電話:0120-232-711(通話料無料)  
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)